

アワジシステム、顧客の ウイルス対策ソフト更新に Acronis Cyber Protect Cloud Advanced Securityを提案し セキュリティ管理工数軽減を実現

アクロニスのAcronis Cyber Protect CloudとAdvanced Securityで、顧客のPC管理をレベルアップし、安心感の醸成に貢献しています。

事業の概要

株式会社アワジシステム（以下、アワジシステム）は2002年設立の兵庫県洲本市に本社を置くOA機器・事務用品の販売・保守を行う企業です。同社は淡路島の企業や個人を対象に、複合機や印刷機、文具などの事務用品、オフィス家具の販売とメンテナンスを行っています。

アワジシステムでは、以前からPCシステムのバックアップで、アクロニスのAcronis True Imageを利用していました。2020年アクロニスからAcronis Cyber Protect Cloudの紹介を受け、従来のバックアップに加え、マルウェア対策、ウイルス対策、エンドポイント保護管理をひとつにした統合サイバープロテクションソリューションに注目しました。まずは自社で試し、バックアップとセキュリティの両方でスムーズに使用できたことから、顧客のセキュリティを一元的に管理する製品として、販売することを決めました。「従来からウイルス対策ソフトを販売してきましたが、セキュリティ上の問題が発生したら、先方から連絡をもらうというやり方でした。それに対して、Acronis Cyber Protect CloudとAdvanced Securityをパッケージして、アワジシステムのサービスブランド”AwaSYS Cyber Protect Cloud”というプランを作成いたしました。それを顧客に導入していただくことで、何かあればアワジシステムに通知されるので、こちらから聞くことができます。これで、サービスの質を大きくレベルアップできると考えました」とアワジシステム 代表取締役社長 桑原 世茂氏は語ります。

ビジネス上の課題

淡路島では、この数年、常設テントやキャビン、コテージを備えたグランピング施設が急増しています。アワジシステムでは、ある施設に無線LAN設備を敷設する依頼を工務店から受けました。ただ、施設にはネットワーク管理者がいないので、アワジシステムが管理しなければなりません。そこで、ネットワーク機器ベンダーのリモート管理サービスを利用して、機器をリモートで管理することにしました。「このサービスで、機器などの不具合が通知されるので、工務店も手の空いた時間に対応できます。今までのように、連絡を受けてから修理に行く必要がなくなったので、とても好評です」（桑原氏）。

業種・業態

(サービスプロバイダー)

- OA機器販売業 (ユーザー企業)
- 官公庁、学校、福祉施設、民間企業

主な課題

(サービスプロバイダー)

- 迅速で最適なサポートサービスの提供 (ユーザー企業)
- PCのセキュリティ関連管理業務の削減

主な要件

(サービスプロバイダー)

- 統合ソリューションで様々な切り口があること (ユーザー企業)
- 手間をかけずにセキュリティ対策ができること

ITインフラ

(サービスプロバイダー)

- Windows環境 (ユーザー企業)
- Windows環境

主なメリット

(サービスプロバイダー)

- 問題発生時の迅速な対応によるサービスレベルの向上を実現 (ユーザー企業)
- セキュリティレベルの向上を実現
- セキュリティ関連業務の負荷軽減を実現

オフィスをトータルサポート
AWAJI SYSTEM

そこで、アワジシステムでは、同様のやり方が可能なAwaSYS Cyber Protect Cloudの提供を通じて、顧客との対話を進め、管理してもらっているという安心感や信頼感の醸成を図ることにしました。

ソリューション

アワジシステムの顧客は、官公庁や学校、数人から数十人の企業、老人保健施設や障害者施設などです。その中で、AwaSYS Cyber Protect Cloudを導入しているのは老人保健施設や障害者施設など福祉関係が中心です。こうした施設は拠点多かったり、同じ敷地でも複数の棟があったり、建物の中でも相談室など部屋数が多く、管理がしにくい面があります。にもかかわらず、管理者は他の業務と兼任で忙しく、PCの細かな部分まで十分に管理する時間をとれません。そこで、アワジシステムではウイルス対策ソフト更新のタイミングに合わせて、ウイルス対策もアクロニスのAdvanced Securityの機能を有するAwaSYS Cyber Protect Cloudへの切り替えを提案、導入を進めています。これによって、施設側はセキュリティ上の管理に割く時間を大幅に減らすことができます。

またアクロニス導入前の2022年6月にマルウェアEmotetの攻撃を受け、気がつかないうちに複数の知り合いに偽装メールを送信されてしまった企業がありました。送信元でのマルウェア検知はできませんでしたが、送信相手から疑念を持たれないように、ログが取得できるセキュリティ対策を講じることにしました。その会社では社外でモバイルPCを使う役員がいることから、アワジシステムの提案でUTM（統合脅威管理）に加えAwaSYS Cyber Protect Cloudをセットで導入しました。「当時、私のところにEmotet関連で『大丈夫か』という問合せが10数件も入りました。確認に時間をとられてしまったことから、それ以降、アクロニスへの切り替えをより積極的に勧めるようになりました」（桑原氏）。

効果と展望

2023年2月段階で、AwaSYS Cyber Protect Cloudのサービスは、約100台のPCに供されており、ユーザーは今後、右肩上がりが増えていきます。顧客の多くはライセンスの更新まで含めて、アワジシステムが管理することを望んでいます。実際、ウイルスソフトをバージョンアップしていなかったり、利用期限切れや体験版しか入っていない、あるいは複数のウイルスソフトがインストールされていて、動作しないなどの問題も多く発生していました。

アクロニスのAcronis Cyber Protect CloudとAdvanced Security技術の導入によって、顧客が行わなければならないPCの管理工数が大きく減っています。バックアップで利用する企業も出てきています。「ある会社でお試しにバックアップを利用していた時に、PCがクラッシュしたことがありました。PCには財務データが入っていたため、仕事を止めないためには、直ちに使える状態にしなければなりません。そこで私たちがノートPCを貸し出し、そのPCにバックアップしていたデータを戻して、使えるようにしたことで、お客様に大変喜ばれ、AwaSYS Cyber Protect Cloudのサービスを正式に導入しました」（桑原氏）。

今後、アワジシステムではCATVでのコマーシャルによる認知度向上を図り、新しいユーザーの発掘につなげていく考えです。淡路島は、神社仏閣が多く、境内でフリーWi-Fiが使えるようにしたいという声も増えています。そうした神社やお寺でのAwaSYS Cyber Protect Cloudを利用したサービスはすでに10台を超える規模になっていますが、さらに拡販していきます。加えて、島内の協力店が神戸市への進出を計画していることから、神戸市内の知り合いが参加する経営者グループへの営業から始めて、神戸市内での提供も勧めていきます。

アワジシステムでは、統合ソリューションの強みは様々な入り口から顧客への提案が可能なことにあると考えています。追加される機能も含めて、顧客に最適な提案をすることでAwaSYS Cyber Protect Cloudの販売を拡大していく計画です。

「様々な機能がサポートされており、顧客のニーズに合った最適な提案ができます」

株式会社アワジシステム
代表取締役社長
桑原 世茂 氏

